
大和川水系西除川ブロックの河川整備の事業評価について

大和川水系西除川ブロックの河川整備の
事業評価に対する主な意見と回答について（府民意見募集結果）

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 府民意見募集について

◆意見募集期間：平成30年12月17日（月）から平成31年1月15日（火）

【ホームページ掲載】

大阪府

関係市

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する府民意見の募集について

更新日:「検査反映日時」の項目に設定した日が表示されます)

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する府民意見の募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、大和川水系西除川ブロック（西除川、東除川、落堀川）の建設事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

また、本件は「大阪府パブリックコメント手続実施要綱」により実施が義務付けられている『パブリックコメント』ではなく、大阪府として現段階で広く府民の皆様のご意見をお伺いする必要があると判断し実施する『その他の意見等の募集』です。

対象事業名

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価

1. 募集対象項目

大和川水系西除川ブロック(西除川、東除川、落堀川)における河川整備事業の建設事業評価

[〈建設事業評価要領〉 \[Wordファイル/207KB\]](#) / [〈建設事業評価要領〉 \[PDFファイル/644KB\]](#)

[〈図画〉 \[PDFファイル/1.51MB\]](#) [〈大和川水系西除川ブロックの河川整備の事業評価について〉 \[PDFファイル/1.97MB\]](#)

2. 募集期間

平成30年12月17日 曜日 から 平成31年1月15日 火曜日
(募集期間内に必着のこと。)

堺市 SAKAI CITY

現在のページ [トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [道路・交通・土木](#) > [土木](#) > [河川関係](#)

大和川水系西除川ブロックの建設事業評価に対する府民意見の募集について

更新日:2018年12月17日

大阪府では、堺市・富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市等を流域とする大和川水系西除川ブロックの建設事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。
詳細については、府のホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ先】
大阪府都市整備部河川室河川整備課地域河川ダムグループ
電話:06-6941-0351(代表)

【募集期間】
平成30年12月17日から平成31年1月15日まで

[大阪府のホームページをご覧になる方はこちらをクリックして下さい。\(外部サイト\)](#)

このページの作成担当
建設局 土木部 河川水路課
電話:072-228-7418 ファックス:072-228-7868
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所高層館20階

- 河川関係
 - 大和川水系西除川ブロックの建設事業評価に対する府民意見の募集について
 - [\(平成30年12月3日公表\)内川排水機場耐震性能調査業務に係る一般競争入札を実施\(河川水路課\)](#)
 - [土砂災害情報](#)
 - [堺市の河川](#)
 - [都市をうるおす水のみのちの再生に向けて](#)
 - [内川・土居川の環境改善の取り組み](#)
 - [河川整備イベント情報](#)
 - [岩石及び砂利採取計画の認可について](#)
 - [関連リンク](#)

※流域7市（堺市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・河内長野市・富田林市）のHPに掲載

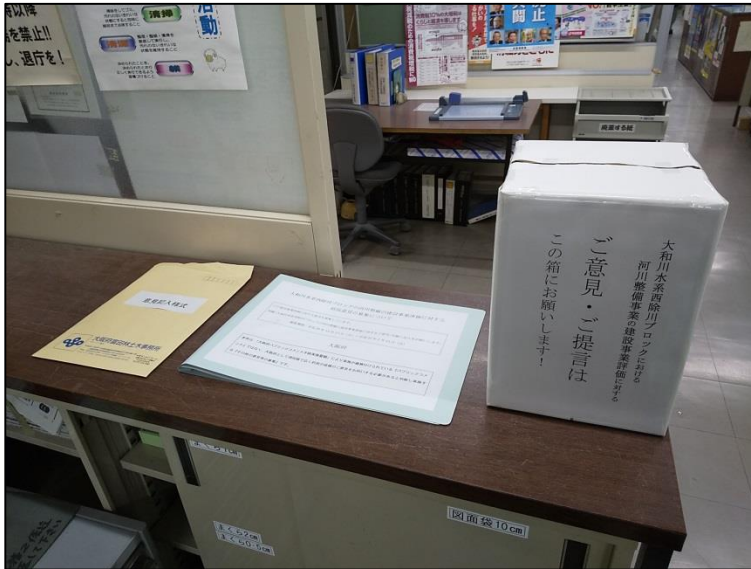
大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 府民意見募集について

◆意見募集期間：平成30年12月17日（月）から平成31年1月15日（火）

【図書縦覧】

縦覧図書

- 第2回河川整備審議会資料（H30.12.5）
 - ・建設事業評価調書
 - ・西除川ブロックの河川整備の事業評価について



縦覧場所

- 以下の14箇所
 - ・大阪府府政情報センター
 - ・大阪府都市整備部河川室
 - ・大阪府富田林土木事務所
 - ・大阪府富田林土木事務所 松原建設事業所
 - ・堺市（東区・美原区・堺区・北区）の各市政情報コーナー
 - ・松原市役所 都市整備部 上下水道建設室
 - ・羽曳野市役所 下水道部 下水道建設課
 - ・藤井寺市役所 都市整備部 道路水路課
 - ・大阪狭山市役所 上下水道部 下水道グループ
 - ・河内長野市役所 都市づくり部 公園河川課
 - ・富田林市役所 産業環境部 みどり環境課

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

府民意見募集結果の概要

いただいたご意見の総数は4通
(意見書に複数意見が書かれたものをそれぞれ1件として算定)

項目	件数
1. 事業概要	3件
2. 事業進捗の見込み	1件
3. その他	3件
合計	7件

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

1. 事業概要に関するもの ①

いただいたご意見

西除川は、ひと雨降ればあばれる川で、狭山池ダムから大和川合流点まで12.8Kmのうち約2Kmほどが深い谷筋の河川で大雨が降れば竹や木が濁流と共に流れ出て河床を削り、急勾配の面の箇所の家屋が危険にさらされているのが現状です。

以前高野線鉄橋までが昭和57年の激甚災害の復旧範囲でそれより上流は水流が越水しないから改修工事をしないと聞かされていたが、そうなのか、今回の資料で計画がないように思う。

事業者の回答(案)
いただいたご意見に対する

ご指摘のとおり、竹等が河川に流れ込むことがあるため、大雨が降った後には、河道内に異常が発生していないか点検を行うとともに、流水の支障となる竹等があれば、撤去も併せて行っています。

西除川の「河川激甚災害対策特別緊急事業」（激特事業）の範囲は2区間あり（P6参考図1参照）、大和川合流点から常盤小橋上流の約1.4km区間と、宮橋から末吉橋の約2.2km区間であり、昭和62年度末に概成しています。

狭山池ダムより下流では、河川整備計画を平成28年10月に策定し、時間雨量80mm程度の降雨に対し、床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として、改進黨下流から南海高野線の約0.6km区間（P6参考図1参照）で河川改修を進めています。

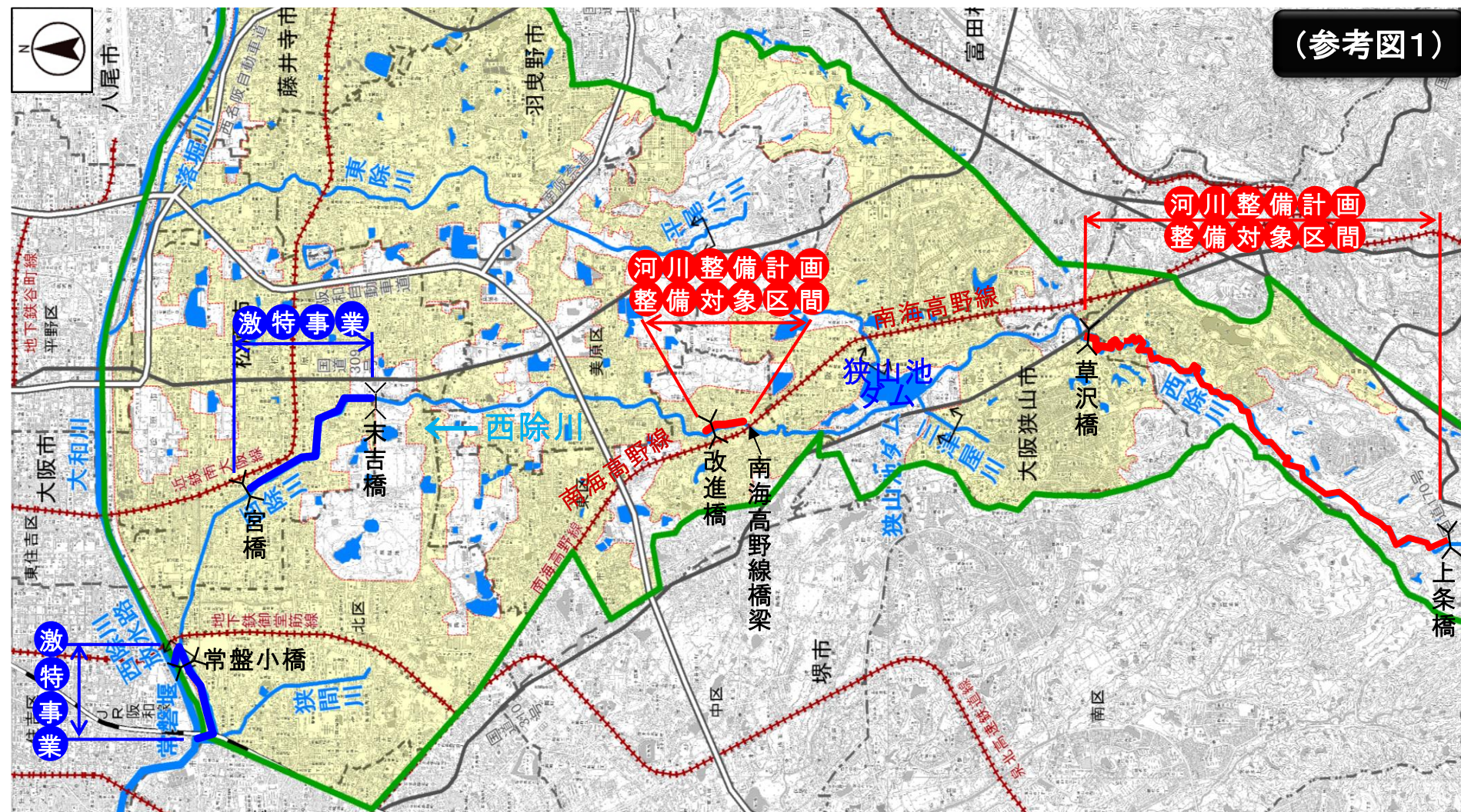
なお、南海高野線から狭山池ダムまでの区間（P6参考図1参照）については、時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水が想定されないため、現河川整備計画では河川改修の計画はありませんが、定期的に点検を行い、必要に応じ、護岸の補修や川底が掘れないような対策も含め、河川施設の機能が発揮されるよう、維持・保全に努めます。

※西除川ブロック河川整備計画については、大阪府HP並びに、大阪府都市整備部河川室、大阪府富田林土木事務所、同松原建設事務所にて閲覧できます。

（大阪府HP：<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/yamatokihonseibi.html>）

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

(参考図1)



大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

1. 事業概要に関するもの ②

いただいたご意見

河道拡幅と河道掘削について、西除川の所々で事業を実施していますが、
①これらについて、各部分での工事理由、②浸水が起こる可能性がある理由、③景観と合わせる場合、どのような工法などを予定しているのか。
事業に関わる内容を、未確定な部分もあると思いますが、公表していただけると嬉しく思います。いずれにしても、今後の環境が大きく変化する中で必要な事業であることは変わらないと思いますので、今後の取り組みを期待しています。

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

①狭山池ダムより下流の区間のうち、改進黨下流から南海高野線の約0.6km区間において、時間雨量80mm程度の降雨により、床上浸水が想定されるため、河川改修を進めています。また、狭山池ダムより上流の区間のうち、草沢橋から上条橋の約6.7km区間において、時間雨量50mm程度の降雨により、床下浸水が想定されるため、河川改修等の対策を進めています（各区間の位置は、P6参考図1参照）。
②西除川については部分的に流下能力が不足する区間があることから浸水が起こる可能性があります。浸水の起こる可能性のある個所については、時間雨量50mm（1/10年確率雨量程度）、65mm（1/30年確率雨量程度）、80mm（1/100年確率雨量程度）の降雨に対して氾濫解析を行い、川からの溢水や破堤による浸水範囲を想定しています。なお、西除川流域については「洪水リスク表示図」を平成24年8月に作成し、公表しております。

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

1. 事業概要に関するもの ②

事業者の回答(案)
いただいたご意見に対する

③景観等に配慮した事例として、以下のような取り組みを行っています。

イ) 工事着手前に行う住民説明会の場などを活用し、工事完成後のイメージの共有。

ロ) 落堀川では改修により護岸の高さが非常に高くなるため、住民意見を反映し、橋の高欄に視認性等に配慮した透明アクリル板の採用や、コンクリート表面に模様をつける化粧型枠の採用。

ハ) 景観や環境に配慮し、護岸の明度が抑えられ、ブロック表面が凸凹している粗面ブロックを採用。

ニ) 西除川での魚類の遡上に配慮した緩傾斜落差工等の採用や、護岸際への植生の誘導による緑陰の確保など、生物の生息環境に配慮した河川改修を実施

事業の内容につきましては、府HPにも掲載しておりますが、今後も積極的な情報発信に努めてまいります。

(大阪府HP：<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/yamatokihonseibi.html>)



落堀川 西橋高欄

【景観への配慮事例】



西除川 粗面ブロック



落堀川 堤内地側化粧型枠

【生物環境への配慮事例】



西除川 緩傾斜落差工



西除川 両岸の植生誘導



落堀川 魚道ブロック

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

1. 事業概要に関するもの ③

いただいたご意見

昭和57年8月の台風10号に伴う豪雨により西除川流域も大きな被害を受けました。地域に住む私たちの命と財産、歴史と文化を守る治水事業として「狭山池ダム平成の大改修」を完工していただき、合わせて下流から河道改修をはじめ、改進橋等橋の改修も実施していただいているところです。この結果、親水空間の整備や安全面の向上をはじめ、平成22年の西野地区の斜面崩落や平成29年台風21号などによる被災箇所への迅速な復旧、狭山池ダムの利水・治水両面からの検討、土砂災害に関する調査・啓発、南海高野線上流区間の河川施設の計画的な保全など、住民一同感謝しています。

今後の整備計画の要望（提言）

- ①南海高野線までの改修計画は現在順調に進めていただいておりますが、完成後は速やかに多くの住民の住む上流の河川改修計画（狭山池ダムまで）の策定をお願い申し上げます。
- ②登美丘雨水幹線の西除川への放流も早期に実現して下さい。
- ③西除川左岸の民地法面については、今後も危険個所の調査・安全対策へのアプローチ等、住民の相談に乗っていただき、行政として可能な対策を考えていただきたい。

事業者の回答（案）
いただいたご意見に対する

①狭山池ダムより下流では、河川整備計画を平成28年10月に策定し、時間雨量80mm程度の降雨に対し、床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として、改進橋下流から南海高野線の約0.6km区間（P10参考図2参照）で河川改修を進めています。

その上流となる、南海高野線から狭山池ダムまでの区間（P10参考図2参照）については、時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水が想定されないため、現河川整備計画では河川改修の計画はありませんが、定期的に点検を行い、必要に応じ、護岸の補修や川底が掘れないような対策も含め、河川施設の機能が発揮されるよう、維持・保全に努めます。

また、南海高野線より上流については、社会情勢や財政状況及び、大阪府内の河川整備状況等を踏まえ、必要に応じ、河川整備計画の変更を検討します。

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

1. 事業概要に関するもの ③

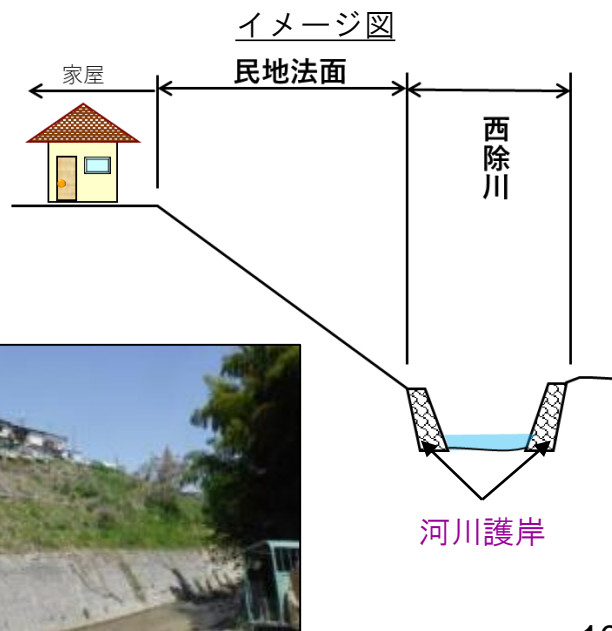
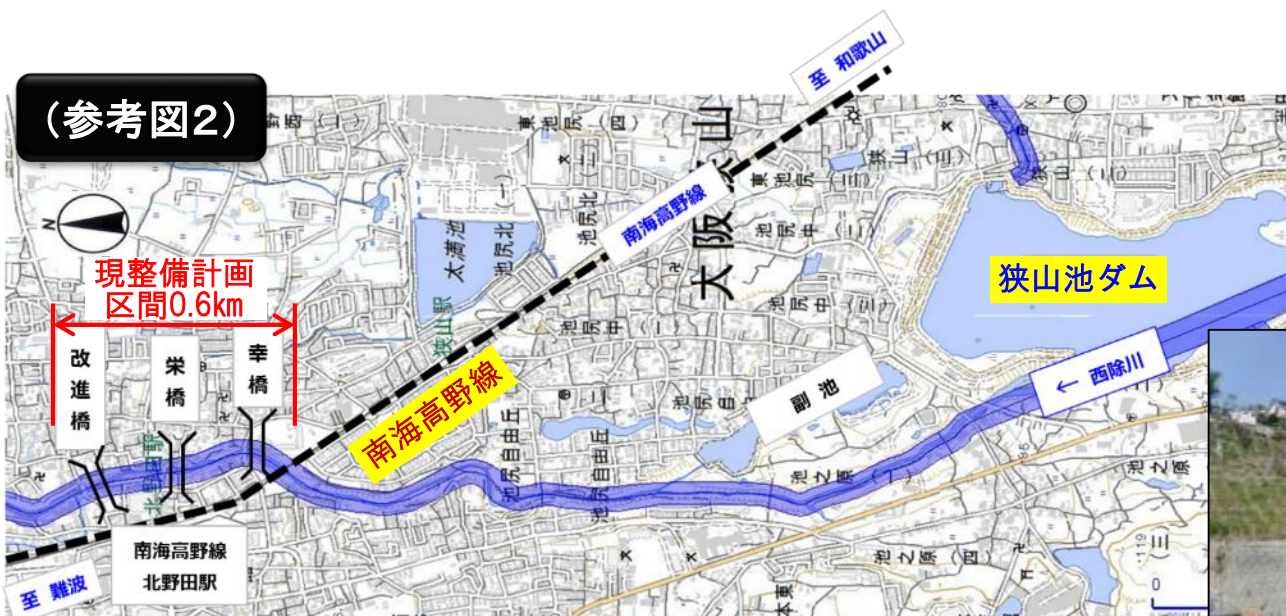
事業者の回答(案)
いただいたご意見に対する

②現在工事中の改進黨下流部の改修工事が完了（平成31年3月末完了予定）すれば、登美丘雨水幹線の西除川への放流が可能になります。

今後、登美丘雨水幹線の管理者である堺市が、雨水幹線への必要な取込工事を平成31年度中に完了する予定と聞いております。

③河川護岸等（下図のイメージ図参照）については、河川法に基づき、適切に維持管理してまいります。なお、河川護岸に隣接する民地法面の対策について、河川管理者としては対応は困難ですが、引き続き、関係機関や地元と協議・調整を行います。

(参考図2)



大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

3. 事業進捗の見込みに関するもの ①

いただいたご意見

堺市東区を流れる西除川の河川改修は、川を跨ぐ府道26号の境橋（平成元年5月）から、野田橋（平成15年7月）、光風橋（平成19年7月）、野田井堰（平成22年7月）、改進黨（平成26年8月）まで、実に1/4世紀を要している。
昭和57年8月の激甚災害の復旧工事としては、余りにもかかりすぎるではないか、それでもまだ600mの部分が復旧出来ていない。
洪水が起これば、生命・財産すべて消滅します。そのような最悪の事が起こらないように知恵を出して早く工事を進めて下さい。

いただいたご意見に対する
事業者の回答（案）

西除川の「河川激甚災害対策特別緊急事業」（激特事業）の範囲は2区間（P6参考図1参照）あり、大和川合流点から常盤小橋上流の約1.4km区間と、宮橋から末吉橋の約2.2km区間であり、昭和62年度末に概成しています。

激特事業完了後も、時間雨量80mm程度の降雨に対応できる、河道改修や狭山池の治水ダム化等の治水事業を進めてきましたが、ご意見いただいた区間については、橋梁の架け替えや堰の改築など横断構造物も多数あり、整備に期間を要しました。

残りの改進黨より上流約0.5kmにおいても、未買収地や橋梁の架け替えが残っておりますが、今後とも着実な事業の進捗に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

また、大阪府では住民の避難支援のため、地域特有の災害リスクを踏まえた洪水リスクの周知や、河川カメラによるリアルタイムの情報発信を行っていますので、市の避難情報などと併せ、避難行動に役立ててください。

※西除川野田の河川カメラHP：<http://www.osaka-pref-rivercam.info/minamikawati/09.html>

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

4. その他 ①

いた
だ
い
た
ご
意
見

狭山池はダム機能を持たせたと云われるが、利水の180万 m^3 に対しては、上流の降雨が池に入って越流堤から常に下流へ流れ出ていると聞く。

近年堺市内では調整区域での宅地化が進んだし、田畑への水が本当に計画当初の180万 m^3 を保持する必要があるのか、疑問に思う。

最近の気象レーダーの正確さから降雨量の予測から貯水量を割り出せることが出来るのではないか、お金が無い無いといわれてハード面の改修が進まなければ、ダムとしての狭山池を洪水調節をするソフト面への検討も必要ではないかと思います。

狭山池ダム水位については、豪雨予報との関係により治水の面からの対応をより進めていただきたい。

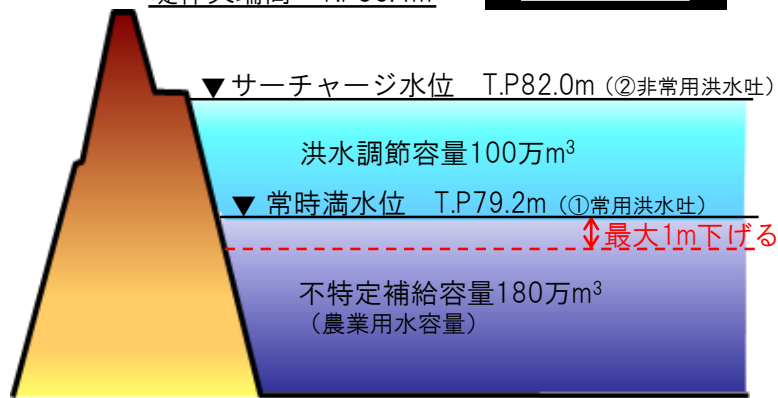
大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

狭山池ダム



堤体天端高 T.P85.4m

【貯水位模式図】



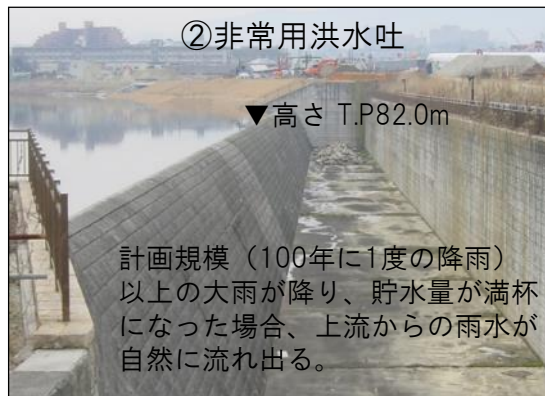
①常用洪水吐

▼高さ T.P79.2m



②非常用洪水吐

▼高さ T.P82.0m



※ここで、狭山池ダムより上流に降った雨を一定量以上、
下流へ流出しないよう、開口を絞っている

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

4. その他 ①

いただいたご意見に対する
事業者の回答(案)

狭山池はもともと、容量180万 m^3 の農業用ため池であり、その容量を維持しつつ、洪水調節容量100万 m^3 を付加したダムであることから、既存の利水容量180万 m^3 を、保持する必要があります。

一方で、平成29年の台風第21号や平成30年7月豪雨では、河川からの溢水は無かったものの、狭山池より下流で護岸が崩壊する被害が発生した状況なども踏まえ、かねてより、権利を有している利水者と協議・調整を行っており、10月から3月までの農閑期において、台風の接近が予想される場合、事前放流により、池の水位を常時満水位より最大1m下げ（P13右上【貯水位模式図】参照）、狭山池ダムが持つ100万 m^3 の治水のための容量を、一時的に最大130万 m^3 程度まで増やすことへの了解を、昨年11月に得たところです。

今後も、この実施結果や農業用水としての利用状況を踏まえ、こうした事前放流の更なる取り組みを進め、狭山池ダムの治水機能を少しでも有効に活用できるよう、引き続き利水者と協議・調整を進めてまいります。

また、平成30年7月豪雨の際、他府県のダムで、貯水量が満杯になり、緊急放流をする際にダム管理者から市町村へのホットラインにより伝達等しているものの、情報の持つ意味が十分に共有されずに確実な避難行動に結びついていないことが、課題となりました。

府管理のダムは計画以上の貯水位になった場合、ゲート操作はなく、非常用洪水吐から自然放流されることとなりますが、上記課題を踏まえ、府では流域市の避難マニュアルに、府から放流予告の通知があった場合には「ダムの放流に伴う避難指示の発令」等を行うことを明記することや、報道機関に対しても、テレビのテロップなどで、ダム放流に伴う避難情報を流してもらえよう協力を求めており、次期出水期での実現に向けて、引き続き、協議を進めてまいります。

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

4. その他 ②

<p>いただいた ご意見</p>	<p>平成29年の台風21号の襲来により堤防がずり落ちる事案が野田校区内でも3ヶ所も発生した。特にH24年に復旧工事をしたところの堤防がずれ落ちた箇所は、右に蛇行しているため河床部分が水流により、削り取られたのではないかと、素人ながら推測しています。<u>原因は、なぜだったのか教えてもらいたい</u></p>
<p>いただいたご意見に対する 事業者の回答(案)</p>	<p>平成29年の台風第21号では、大阪の南部を中心に大阪の年降水量の約1/4に相当する総雨量300ミリ程度の降雨が2日間で降ったことから、川の水位が高い状況が続き、水衝部や護岸前面の河床が流水による洗掘を長時間にわたって受けた結果、護岸が崩壊したものと考えています。なお、当該被災箇所の復旧については、護岸の復旧と併せ、護岸前面の河床の洗掘を防ぐため、護床ブロックの設置をH30年6月に完了しております。</p>

改進黨下流左岸



栄橋下流左岸



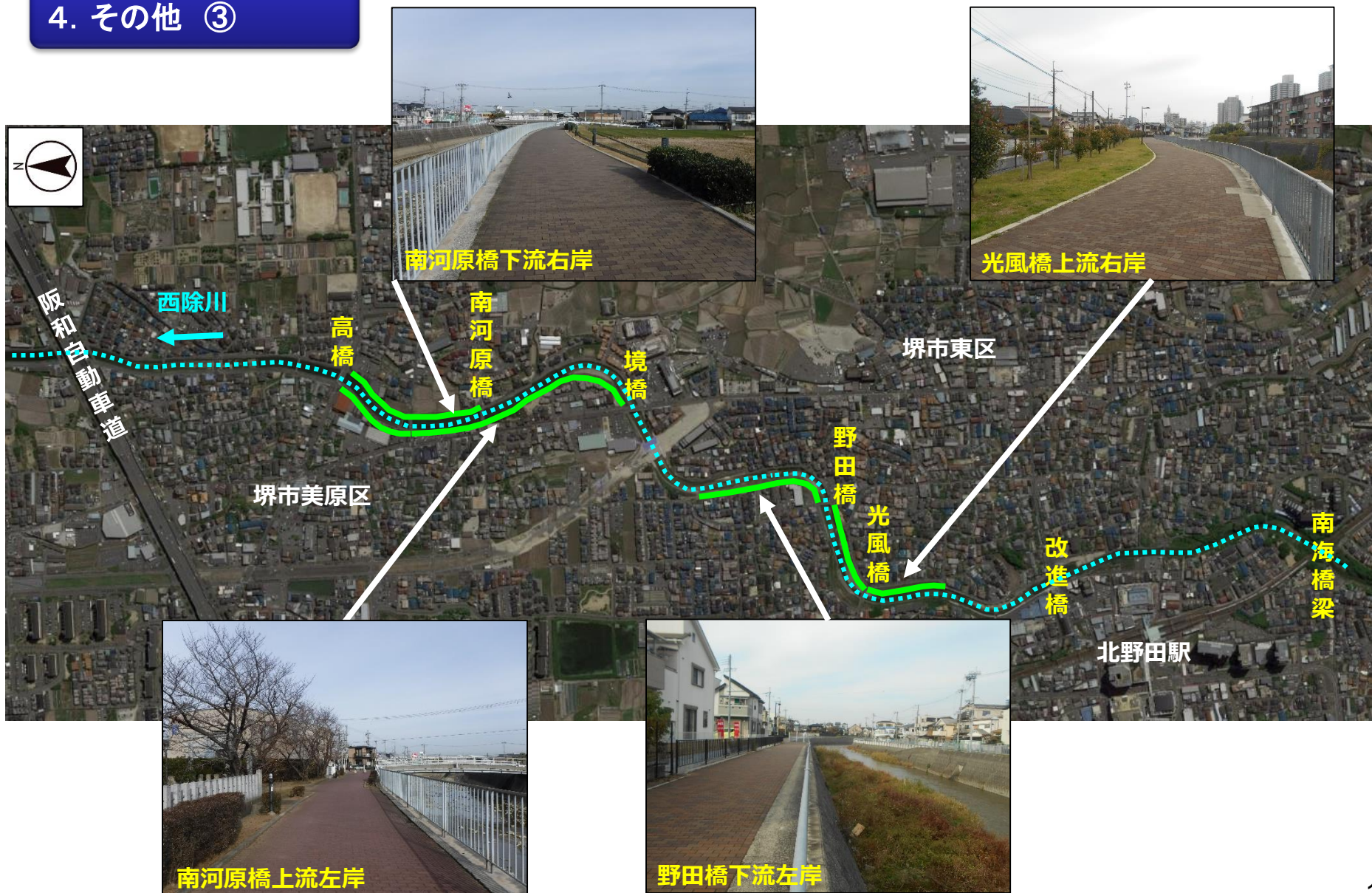
大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

4. その他 ③

いただいたご意見	<p>《西除川の全流域を観光資源に》 私は2.5万地形図を資料にしたウォーキングコースづくりを趣味にしています。今回は西除川をテーマにして全長約32キロのコースを設定しました。</p> <p>川沿いのロケーションの優劣でいえば、残念ながらレベルは低いと思っていますが、松原市や堺市の流域では遊歩道の整備がかなり進んでおり、安全なウォーキングコースとして推奨できます。しかし、阪和道と交差する当たりの雑ばくな風景は失望モノです。せめてカラー舗装やポールで歩道、車道の分離をしてほしい。狭山池から上流は、川べり歩きにこだわらず、私のセンスと経験からベターな道を選びました。金剛寺に至る最終コースは田園風景が楽しめ、ウォーキングファンには楽しい道です。なお、コースの重要な条件である、公衆トイレや昼食地の確保などにも配慮しています。</p> <p>現在、工事中の阪神高速常磐町区間において企画されている？旧水路の親水空間（遊歩道・公園）化が完成すると、<u>浅香山つつじ公園から天野山金剛寺まで32キロのすてきな遊歩道</u>ができます。私の生きているあいだに出来たらいいな、と夢見ています。</p>
いただいたご意見に対する事業者の回答(案)	<p>西除川では、地元市と協力して、河川管理用通路を活用した遊歩道や緑道（自転車歩行者道）の整備が行われるなど、地域に憩いの空間を提供しています。</p> <p>また、引き続き、改進橋下流左岸においても、河川改修完了後の緑道整備が計画されています。なお、阪神高速大和川線の事業完了後には、西除川沿いに遊歩道や親水広場が復旧される予定です。</p> <p>今後とも、地元市と協議調整をしながら、地域に喜ばれるような整備に努めてまいります。</p>

大和川水系西除川ブロックにおける河川整備事業の建設事業評価に対する 主な意見と回答について

4. その他 ③



審議会委員の意見を踏まえ、当日配布した資料から下記の修正を行い掲載しております。

ページ	回答（案）の修正前	回答（案）の修正後
P5	【上から3行目後半】 …の範囲は2区間あり、大和川…	…の範囲は2区間あり <u>(P6参考図1参照)</u> 、大和川…
	【上から7行目後半～8行目】 …南海高野線の約0.6km区間で河川改修を…	…南海高野線の約0.6km区間 <u>(P6参考図1参照)</u> で河川改修を…
	【上から9行目】 …狭山池ダムまでの区間については、…	…狭山池ダムまでの区間 <u>(P6参考図1参照)</u> については…
P6	—	図右上に「 <u>(参考図1)</u> 」を追記
P7	【上から4行目】 …河川改修等の対策を進めています。	…河川改修等の対策を進めています <u>(各区間の位置は、P6参考図1参照)</u> 。
P8	【上から5行目】 …護岸に粗面ブロックを採用。	…護岸に <u>明度が抑えられ、ブロック表面が凸凹している粗面</u> ブロックを採用。
	—	<u>二) 西除川での魚類の遡上に配慮した緩傾斜落差工等の採用や、護岸際への植生の誘導による緑陰の確保など、生物の生息環境に配慮した河川改修を実施。</u> を追記するとともに、 <u>写真を追加。</u>
P9	【上から2行目～3行目】 …南海高野線の約0.6km区間で河川改修…	…南海高野線の約0.6km区間 <u>(P10参考図2参照)</u> で河川改修…
	【上から4行目】 …から狭山池ダムまでの区間については…	…から狭山池ダムまでの区間 <u>(P10参考図2参照)</u> については…
P10	【上から5行目】 ③民地法面に隣接する河川護岸等については、河川法に基づき、適切に維持管理してまいります。 なお、 <u>民地法面</u> の対策について、河川管理者としては対応は困難ですが、引き続き、関係機関や地元と協議・調整を行います。	③ <u>河川護岸等 (下図のイメージ図参照)</u> については、河川法に基づき、適切に維持管理してまいります。 なお、 <u>河川護岸に隣接する</u> 民地法面の対策について、河川管理者としては対応は困難ですが、引き続き、関係機関や地元と協議・調整を行います。
	—	図右上に「 <u>(参考図2)</u> 」を、イメージ図に「 <u>河川護岸</u> 」を追記

審議会委員の意見を踏まえ、当日配布した資料から下記の修正を行い掲載しております。

ページ	回答（案）の修正前	回答（案）の修正後
P11	【上から1行目】 …（激特事業）の範囲は2区間あり…	…（激特事業）の範囲は2区間 <u>(P6参考図 1 参照)</u> あり…
P13	—	右上の図（貯水位模式図）を修正 ①常用洪水吐写真に、 <u>高さ</u> を追記 ②非常用洪水吐写真に <u>高さ</u> と、 <u>説明書き</u> を追記 <u>右下オリフィスの機能の説明</u> を追記
P14	【上から1行目から】 狭山池は、 <u>もともと農業用のため池として容量180万m3の権利を持っており、その容量を維持しつつ、洪水調節容量100万m3を付加したダムであることから、180万m3の利水容量を保持する必要はあります。</u>	狭山池は、 <u>もともと容量180万m3の農業用ため池であり、その容量を維持しつつ、洪水調節容量100万m3を付加したダムであることから、既存の利水容量180万m3を、保持する必要があります。</u>
	【上から7行目】 …池の水位を最大1 m下げることの了解を、昨年11月に得たところです。	…池の水位を <u>常時満水位より最大1 m下げ (P13右上【貯水位模式図】参照)、狭山池ダムが持つ100万m3の治水のための容量を、一時的に最大130万m³程度まで増やすこと</u> の了解を、昨年11月に得たところです。
P15	【上から1行目】 平成29年の台風21号では、 <u>時間雨量20ミリ程度の降雨が長時間にわたって続き、水衝部や護岸前面…</u>	平成29年の台風第21号では、 <u>大阪の南部を中心に大阪の年降水量の約1/4に相当する総雨量300ミリ程度の降雨が2日間で降ったことから、川の水位が高い状況が続き、水衝部や護岸前面…</u>